

# 令和6年度

## 鹿児島県レクリエーション協会 活動方針

令和6年度は、昨年度新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられて2年目をむかえます。しかしながら、ある程度のコロナ対策を取りつつも発生前の時代に少しずつ戻って来た感があります。

私たちはこれまで、歴史的に振り返ってみてもゲーム・ソング・ダンスといったいわゆる三種の神器を用いた「集団」を意識したレクリエーション活動が主流であった面を強く感じます。しかし、ここ数年のコロナショックで痛感させられたように「集団」へのアプローチには限界が生じました。本来人間が生きている中で「生きる喜び」とは何だったのか再認識する時代が到来していると言えます。特に現代は超長寿社会となり様々な問題が発生しております。日々の生活の中で感じる「楽しさ」「嬉しさ」「生きがい」などを、それぞれ一人一人の「個」へも届け、アドバイスし（する）、寄り添うことがレクリエーション活動の目標の一つと言えます。

一般的に「レクリエーション＝ゲームやダンス」と言った昔からの概念を払拭し、「身の周りでなされている園芸や演劇鑑賞・最近はやりの寺社巡り等も立派なレクリエーションの一つです」と言った啓発や様々なレクリエーション活動（財）を活用し、身近な人々にレクリエーションの楽しさを伝える「伝導的使命」が到来しているのかもしれない。

これからも、レクリエーション支援（指導）者はもとより各種目団体の指導者の皆様と共に「生きる喜びづくり」を伝えていくための活動を目指します。

そのため以下の活動を提案いたします。

- 1 地域レクリエーション協会訪問事業（てこ入れ・助言・交流等）
- 2 種目団体との交流促進事業
- 3 有資格者の講師状況の把握、講師バンクの充実及び若手の積極的活用
- 4 創立50周年記念大会の開催
- 5 協会の財政健全化に取り組む
- 6 ホームページの充実及び更なるSNSの活用
- 7 県民レクリエーション祭の在り方の検討